



### 原水禁世界大会メッセージ

被爆 75 周年原水爆禁止世界大会の開催に際し、参議院会派「沖縄の風」を代表し連帯のメッセージをお送りします。ご参加のみなさまの核兵器廃絶に向けた日頃からの取り組みに心からの敬意と連帯を表明いたします。

多くの犠牲者を出した、広島・長崎への原爆投下から 75 年が経ちました。75 年前、地上戦を経験した沖縄県選出の国会議員として二度と戦争の惨禍を繰り返させてはいけない、核兵器と人類は共存できないという信念のもと国会においても活動しております。

国連で核兵器禁止条約が採択されてから 3 年が経ちます。米ロをはじめとする核保有国や、それらの国の同盟国などは条約に反対し続けている状態です。日本は唯一の被爆国と

して、早期に核兵器禁止条約を批准し、平和憲法の理念の下、非核三原則を堅持し、核兵器廃絶に向けてリーダーシップを取るべきです。

沖縄においては多くの県民が反対するなかで、貴重な海を埋立てる辺野古新基地建設工事が強行されております。平和を希求する多くの県民は、武力や軍事力で平和を維持することはできないと、身にしみて実感しております。

日本政府による核兵器禁止条約の早期批准、世界における核兵器廃絶に向けて、ともにがんばってまいりましょう。最後に、本大会のご成功とご参加の皆さまのご健勝をお祈りしてメッセージといたします。

参議院会派「沖縄の風」 伊波洋一